



中石選果場幸水初出荷(9月3日)

「菊」

平成30年は露地栽培の菊において、台風21号による潮風害で大きな被害を受けました。しかし、全国的な品不足で高単価となったことや、予約相対販売・買取販売によって安定した単価を維持できたことで、販売金額2億円を達成することができました。



菊園芸メガ団地にて集団営農指導(5月10日)

「梨」

黒星病の発生、9月や10月の台風による落果・すり傷被害によって、出荷量が前年対比25%減、販売額は前年対比35%減となっております。しかし、品質は安定しており、秋田市で開催した第141回秋田県種苗交換会では2名の生産者が1等賞に輝きました。

現在は来年度に向けて剪定・誘引作業を行っており、作業は順調に進んでいます。

「ネギ」

夏ネギの出荷が7月9日から始まり高単価でスタートしましたが、出荷量が少ないため長くは続かず、収量がまとまる8月からコンテナ出荷を開始し市場への出荷調整をしながら価格維持に努めました。9月からは横浜市場も開始し、秋冬ネギも有利販売できるように安定した出荷をすることに努めました。

男鹿市五里合地区ではネットワーク型園芸拠点事業を活用し、加工業務用ネギの

生産が拡大しました。大雨による湿害のため出荷量の確保に苦慮しましたが、値決販売によって安定した価格となりました。

現在、栽培戸数が減るも面積拡大が進む背景として、機械化一貫体系の導入が大きくなり、全自動収穫機や根葉切り・皮むき機械の導入が重要となってきています。効率よく収穫調整作業することと栽培生育面の両方で安心して取り組めるよう努めてまいります。



秋冬ネギ栽培講習会(9月18日)

「メロン」

今年度から本格導入したハウス・二重用秋田美人については、生育前半に大雨や低温で推移し日照量も少ない不安定な気象条件下でも比較的影響が少なく、安定した結果を得ることができました。

販売については秋田美人(BG・27)は玉肥大、品質ともに良い仕上がりで十分な出荷量の供給ができました。



メロン試食即売会(7月14日)